

生涯学習についてのアンケート結果

県では、令和5年12月に「第4期滋賀県教育振興基本計画」を策定し、「すべての人が学び続け、共に生きるための生涯学習を振興する」ことに取り組んでいるところです。

本計画において県が目指す姿への到達状況について、成果や達成状況を把握するための指標を設定しており、毎年点検・評価を行い施策の展開に反映しています。

そこで「生涯学習の場の充実」に関する県民の方々の意識調査を目的としてアンケート調査を実施しました。

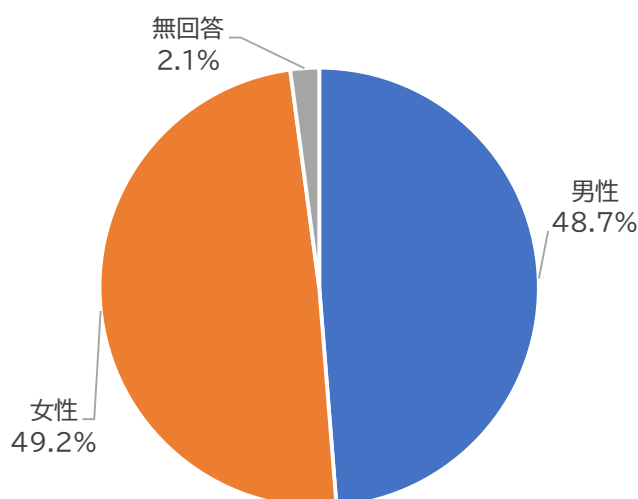
- ★ 調査時期：令和8年(2026年)1月
- ★ 対象者：県政モニター 300人
- ★ 回答数：236人(回答率 78.7%)
- ★ 担当課：教育委員会事務局 生涯学習課

(※四捨五入により割合の合計が100%にならない場合があります。)

【属性について】

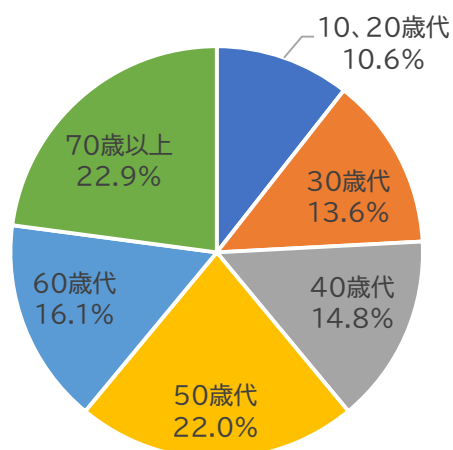
◆性別

項目	人数(人)	割合(%)
男性	115	48.7
女性	116	49.2
無回答	5	2.1
合計	236	100



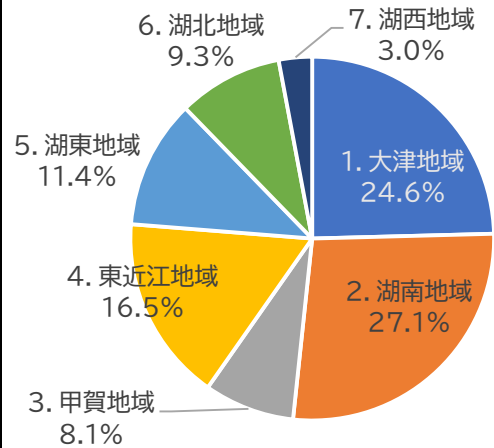
◆年代

項目	人数(人)	割合(%)
10、20歳代	25	10.6
30歳代	32	13.6
40歳代	35	14.8
50歳代	52	22.0
60歳代	38	16.1
70歳以上	54	22.9
合計	236	100



◆地域

項目	人数(人)	割合(%)
1. 大津地域 (大津市)	58	24.6
2. 湖南地域 (草津市、守山市、栗東市、野洲市)	64	27.1
3. 甲賀地域 (甲賀市、湖南市)	19	8.1
4. 東近江地域 (近江八幡市、東近江市、日野町、竜王町)	39	16.5
5. 湖東地域 (彦根市、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町)	27	11.4
6. 湖北地域 (長浜市、米原市)	22	9.3
7. 湖西地域 (高島市)	7	3.0
合計	236	100

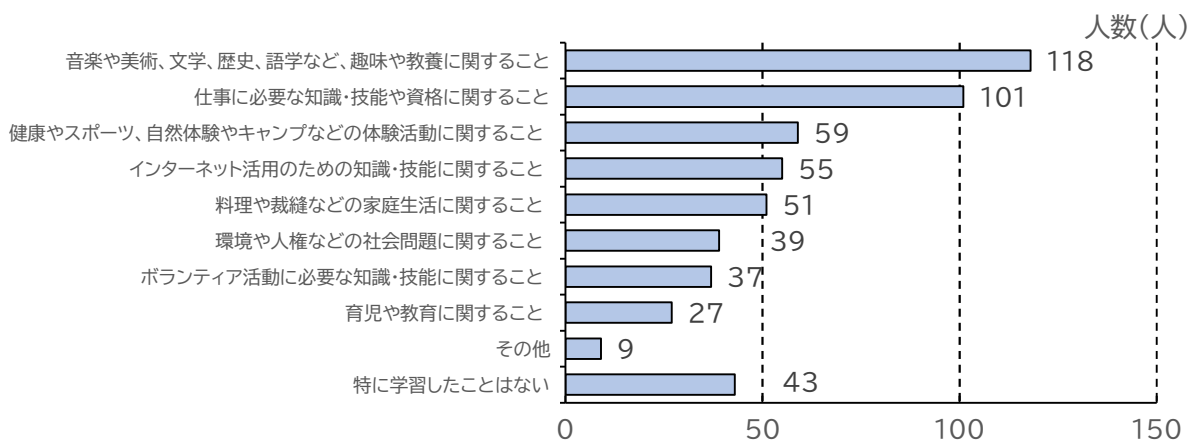


【生涯学習の現状について】

問1 あなたがこの1年間に学習した内容について教えてください。

該当する項目を選択してください。(「特に学習したことはない」を選択した人以外は、回答チェックはいくつでも。n=236)

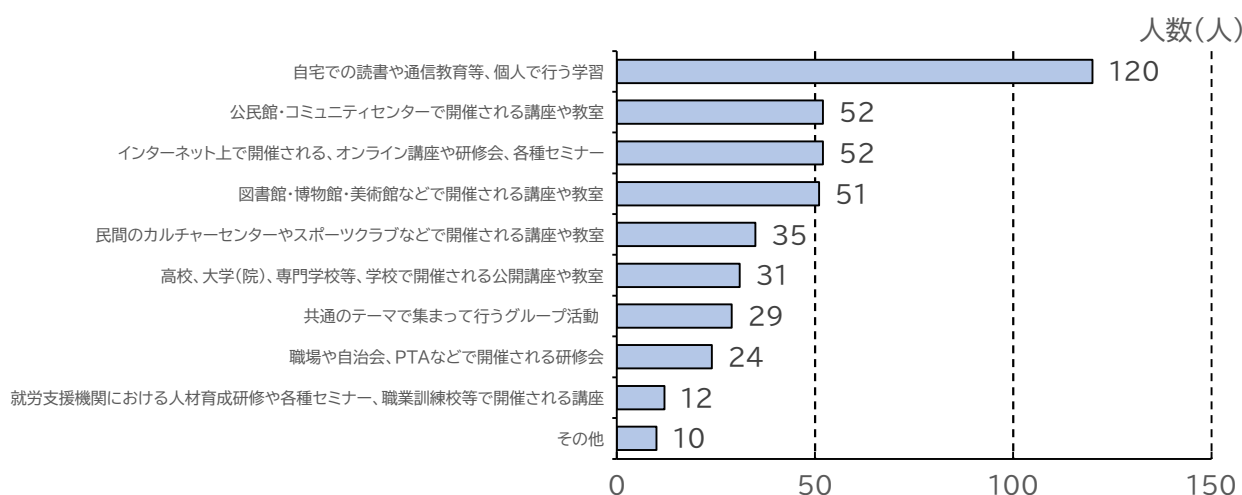
回答	人数(人)	割合(%)
音楽や美術、文学、歴史、語学など、趣味や教養に関すること	118	50.0
仕事に必要な知識・技能や資格に関すること	101	42.8
健康やスポーツ、自然体験やキャンプなどの体験活動に関すること	59	25.0
インターネット活用のための知識・技能に関すること	55	23.3
料理や裁縫などの家庭生活に関すること	51	21.6
環境や人権などの社会問題に関すること	39	16.5
ボランティア活動に必要な知識・技能に関すること	37	15.7
育児や教育に関すること	27	11.4
その他	9	3.8
特に学習したことはない	43	18.2



問2 どのような方法で学習しましたか。

問1で「特に学習したことはない」を選択した方以外、該当する項目を選択してください。(回答チェックはいくつでも。n=193)

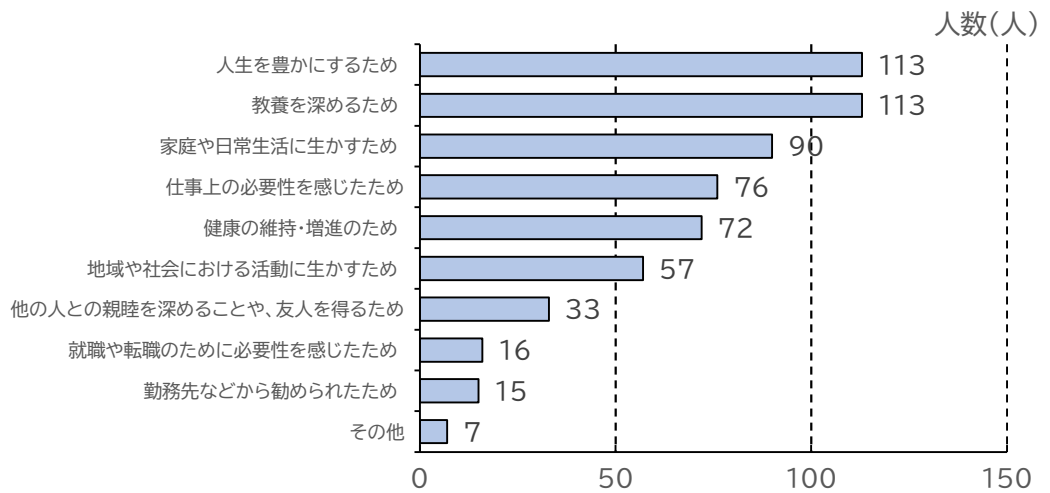
回答	人数(人)	割合(%)
自宅での読書や通信教育等、個人で行う学習	120	62.2
公民館・コミュニティセンターで開催される講座や教室	52	26.9
インターネット上で開催される、オンライン講座や研修会、各種セミナー	52	26.9
図書館・博物館・美術館などで開催される講座や教室	51	26.4
民間のカルチャーセンターやスポーツクラブなどで開催される講座や教室	35	18.1
高校、大学(院)、専門学校等、学校で開催される公開講座や教室	31	16.1
共通のテーマで集まって行うグループ活動	29	15.0
職場や自治会、PTAなどで開催される研修会	24	12.4
就労支援機関における人材育成研修や各種セミナー、職業訓練校等で開催される講座	12	6.2
その他	10	5.2



問3 学習しようと思った理由を教えてください。

問1で「特に学習したことはない」を選択した方以外、該当する項目を選択してください。(回答チェックはいくつでも。n=193)

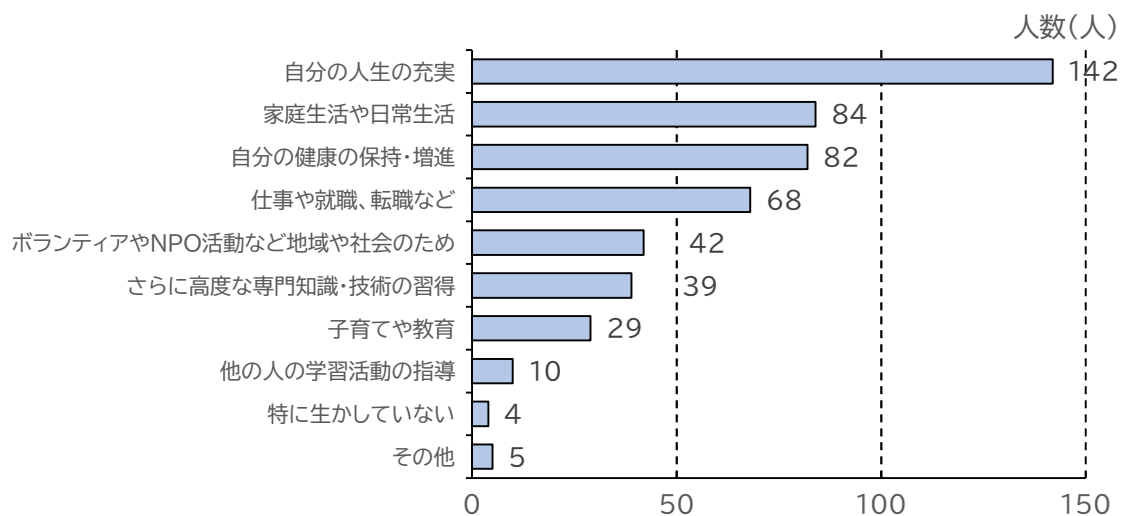
回答	人数(人)	割合(%)
人生を豊かにするため	113	58.5
教養を深めるため	113	58.5
家庭や日常生活に生かすため	90	46.6
仕事上の必要性を感じたため	76	39.4
健康の維持・増進のため	72	37.3
地域や社会における活動に生かすため	57	29.5
他の人との親睦を深めることや、友人を得るため	33	17.1
就職や転職のために必要性を感じたため	16	8.3
勤務先などから勧められたため	15	7.8
その他	7	3.6



問4 学習して身に付けた知識技能や経験は何に生かしていますか。

問1で「特に学習したことはない」を選択した方以外、該当する項目を選択してください。（「特に生かしていない」を選択した人以外は、回答チェックはいくつでも。
n=193）

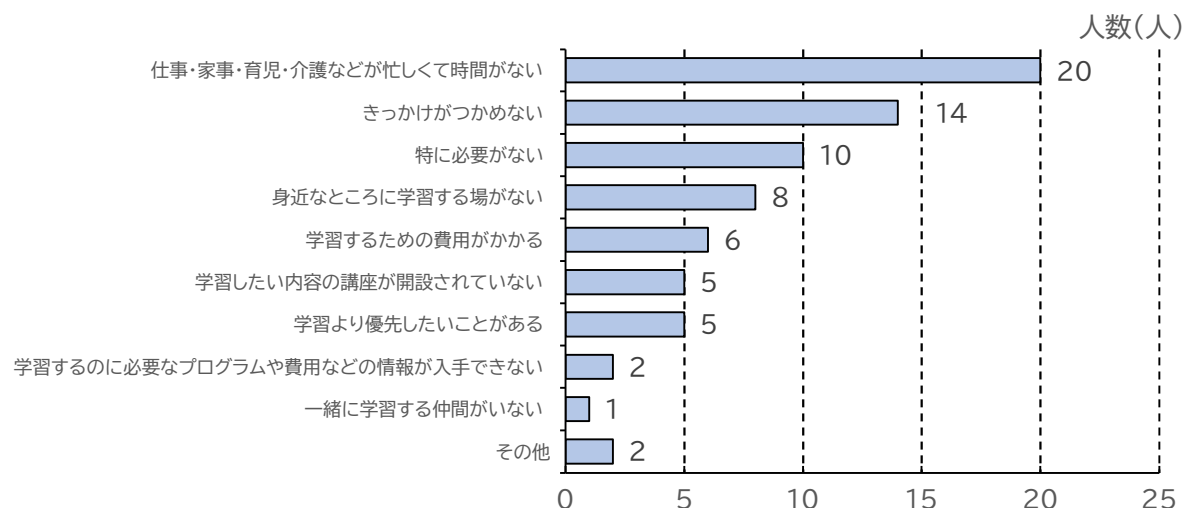
回答	人数(人)	割合(%)
自分の人生の充実	142	73.6
家庭生活や日常生活	84	43.5
自分の健康の保持・増進	82	42.5
仕事や就職、転職など	68	35.2
ボランティアやNPO活動など地域や社会のため	42	21.8
さらに高度な専門知識・技術の習得	39	20.2
子育てや教育	29	15.0
他の人の学習活動の指導	10	5.2
特に生かしていない	4	2.1
その他	5	2.6



問5 特に学習しなかった理由を教えてください。

問1で「特に学習したことはない」を選択された方のみ該当する項目を選択してください。(回答チェックはいくつでも。n=43)

回答	人数(人)	割合(%)
仕事・家事・育児・介護などが忙しくて時間がない	20	46.5
きっかけがつかめない	14	32.6
特に必要がない	10	23.3
身近なところに学習する場がない	8	18.6
学習するための費用がかかる	6	14.0
学習したい内容の講座が開設されていない	5	11.6
学習より優先したいことがある	5	11.6
学習するのに必要なプログラムや費用などの情報が入手できない	2	4.7
一緒に学習する仲間がない	1	2.3
その他	2	4.7

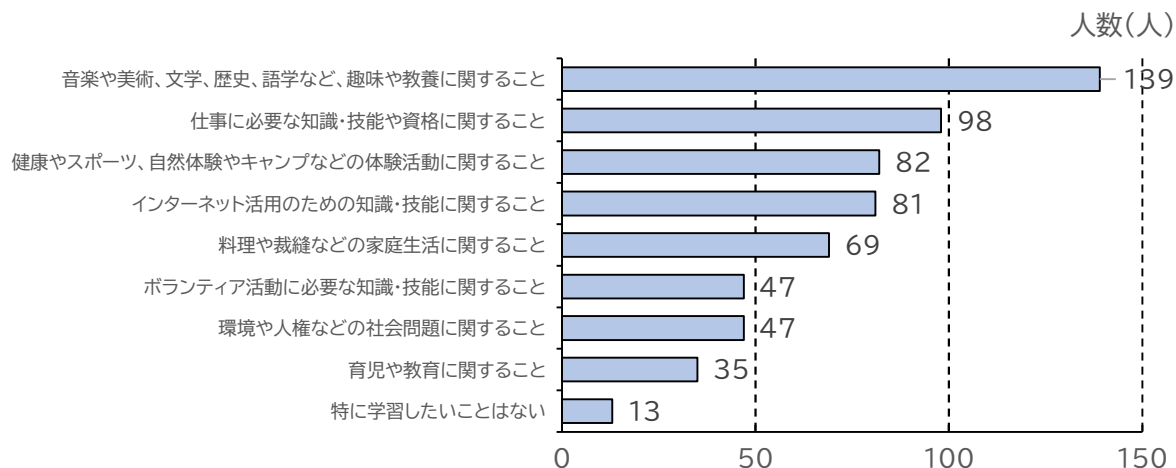


【今後、学習したいと思うことについて】

問6 何を学習したいですか。

該当する項目を選択してください。(「特に学習したいことはない」を選択した人以外は、回答チェックはいくつでも。n=236)

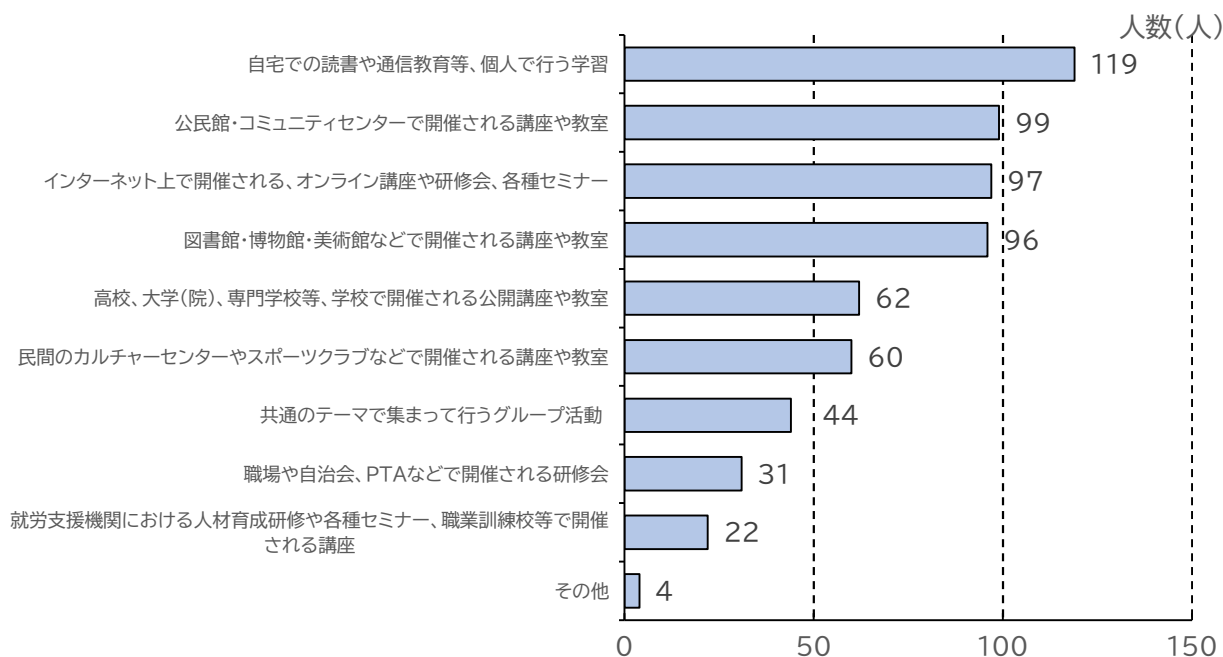
回答	人数(人)	割合(%)
音楽や美術、文学、歴史、語学など、趣味や教養に関すること	139	58.9
仕事に必要な知識・技能や資格に関すること	98	41.5
健康やスポーツ、自然体験やキャンプなどの体験活動に関すること	82	34.7
インターネット活用のための知識・技能に関すること	81	34.3
料理や裁縫などの家庭生活に関すること	69	29.2
ボランティア活動に必要な知識・技能に関すること	47	19.9
環境や人権などの社会問題に関すること	47	19.9
育児や教育に関すること	35	14.8
特に学習したいことはない	13	5.5
その他	11	4.7



問7 どのような方法で学習したいですか。

問6で「特に学習したいことはない」を選択した方以外、該当する項目を選択してください。(回答チェックはいくつでも。n=223)

回答	人数(人)	割合(%)
自宅での読書や通信教育等、個人で行う学習	119	53.4
公民館・コミュニティセンターで開催される講座や教室	99	44.4
インターネット上で開催される、オンライン講座や研修会、各種セミナー	97	43.5
図書館・博物館・美術館などで開催される講座や教室	96	43.0
高校、大学(院)、専門学校等、学校で開催される公開講座や教室	62	27.8
民間のカルチャーセンターやスポーツクラブなどで開催される講座や教室	60	26.9
共通のテーマで集まって行うグループ活動	44	19.7
職場や自治会、PTAなどで開催される研修会	31	13.9
就労支援機関における人材育成研修や各種セミナー、職業訓練校等で開催される講座	22	9.9
その他	4	1.8

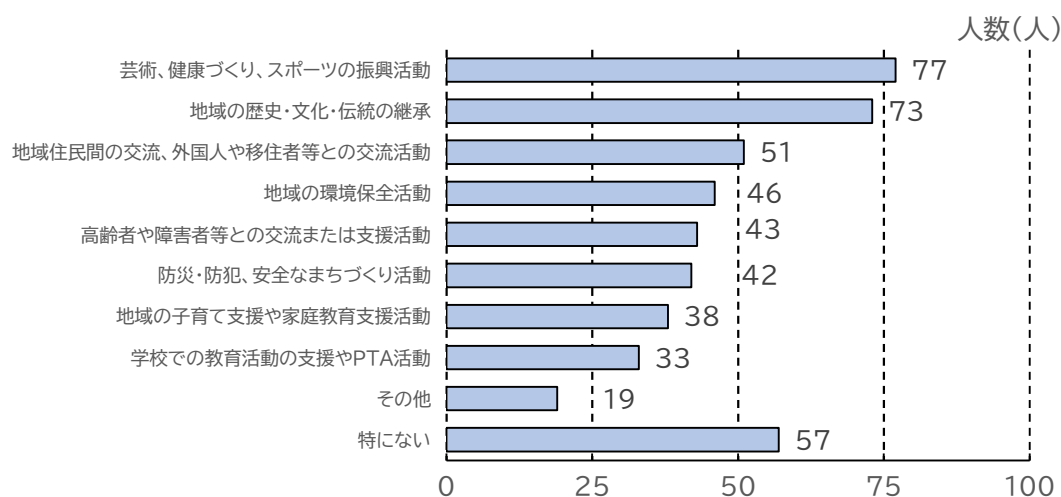


【学習成果の活用について】

問8 学習の成果を社会に生かせると思うのはどんな場面ですか。

該当する項目を選択してください。(「特にない」を選択した人以外は、回答チェックはいくつでも。n=236)

回答	人数(人)	割合(%)
芸術、健康づくり、スポーツの振興活動	77	32.6
地域の歴史・文化・伝統の継承	73	30.9
地域住民間の交流、外国人や移住者等との交流活動	51	21.6
地域の環境保全活動	46	19.5
高齢者や障害者等との交流または支援活動	43	18.2
防災・防犯、安全なまちづくり活動	42	17.8
地域の子育て支援や家庭教育支援活動	38	16.1
学校での教育活動の支援やPTA活動	33	14.0
その他	19	8.1
特にない	57	24.2

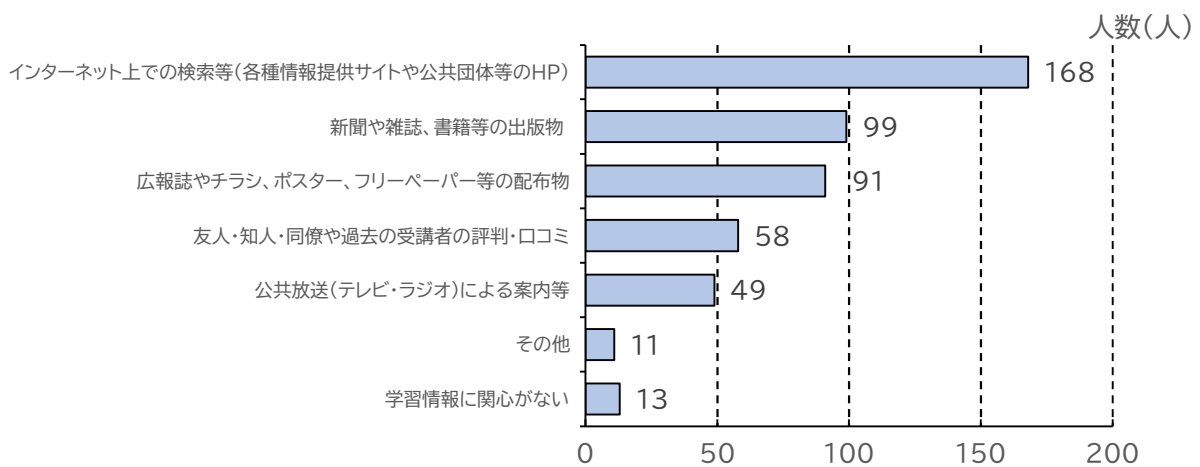


【学習に関する情報の入手方法について】

問9 学習情報はどのような方法で入手していますか。

該当する項目を選択してください。(「学習情報に関心がない」を選択した人以外は、回答チェックはいくつでも。n=236)

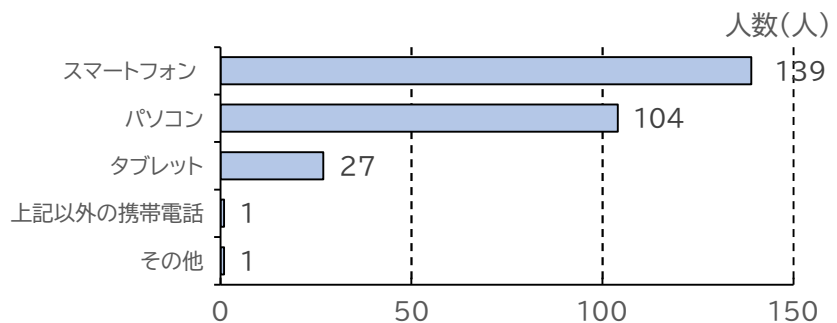
回答	人数(人)	割合(%)
インターネット上での検索等(各種情報提供サイトや公共団体等のホームページ)	168	71.2
新聞や雑誌、書籍等の出版物	99	41.9
広報誌やチラシ、ポスター、フリーペーパー等の配布物	91	38.6
友人・知人・同僚や過去の受講者の評判・口コミ	58	24.6
公共放送(テレビ・ラジオ)による案内等	49	20.8
その他	11	4.7
学習情報に関心がない	13	5.5



問10 何を使ってインターネット上の情報を入手していますか。

問9で「インターネット上での検索等(各種情報提供サイトや公共団体等のホームページ)」を選択された方のみ、該当する項目を選択してください。(回答は2つまで。n=168)

回答	人数(人)	割合(%)
スマートフォン	139	82.7
パソコン	104	61.9
タブレット	27	16.1
上記以外の携帯電話	1	0.6
その他	1	0.6



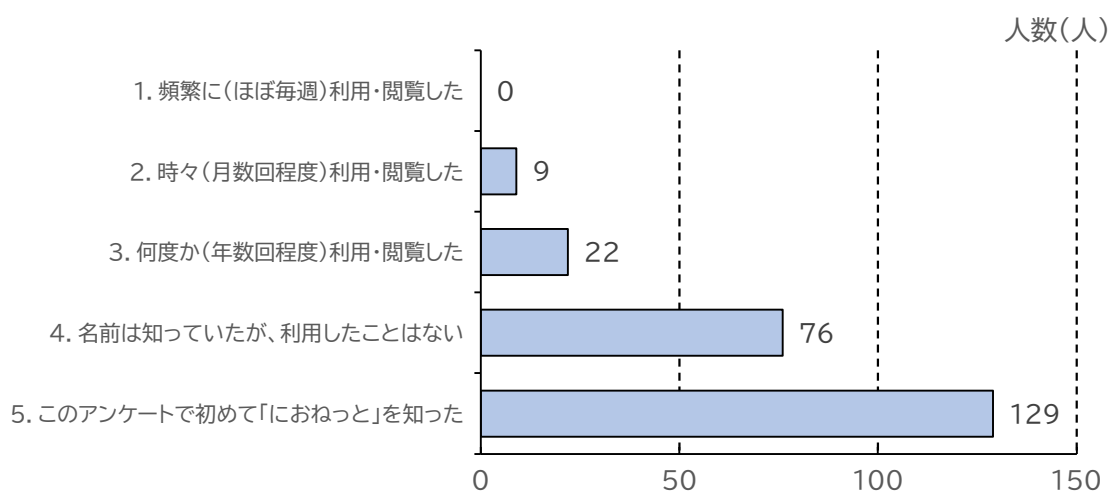
【滋賀県学習情報提供システム「におねっと」について】

問11 この1年間に「におねっと」をどの程度利用されましたか。

該当する項目を選択してください。(回答は1つだけ。n=236)

※ 「におねっと」は、県民の主体的な生涯学習を支援するため、県内で開催される講座などの学習情報を一元化して提供している県のHP。視聴覚教材の貸出予約や学習相談の受付等を行っています。

回答	人数(人)	割合(%)
1. 頻繁に(ほぼ毎週)利用・閲覧した	0	0.0
2. 時々(回数程度)利用・閲覧した	9	3.8
3. 何度か(回数程度)利用・閲覧した	22	9.3
4. 名前は知っていたが、利用したことはない	76	32.2
5. このアンケートで初めて「におねっと」を知った	129	54.7
合計	236	100



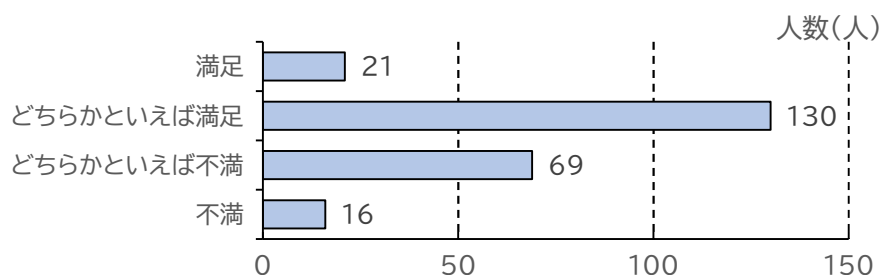
問12 提供している情報内容への満足度をお答えください。

該当する項目を選択してください。(回答は1つだけ。n=236)

※ 質問 11 で利用したことがないと回答された方も、お手数ですがサイトを閲覧いただきお答えください。

【サイトの詳細 URL】 <https://www.nionet.jp>

回答	人数(人)	割合(%)
満足	21	8.9
どちらかといえば満足	130	55.1
どちらかといえば不満	69	29.2
不満	16	6.8
合計	236	100



理由をお聞かせください。(一部抜粋)

「1. 満足」または「2. どちらかといえば満足」と回答された理由

興味のあることから検索できるだけでなく、地域からも検索出来るところが良いと思います。
講座のカテゴリー、地域検索がわかりやすい。地図表示できるとさらにいいと思う。
講師登録を希望できる点。申請してみます。
インターネットで個別に検索しなくても、地域ごと目的ごとに簡単に検索できるホームページがあることに驚きました。ただ、オンライン受講することが多いので、検索の際にオンライン受講が可能かどうかのチェック項目があればもっと使いやすいと思いました。

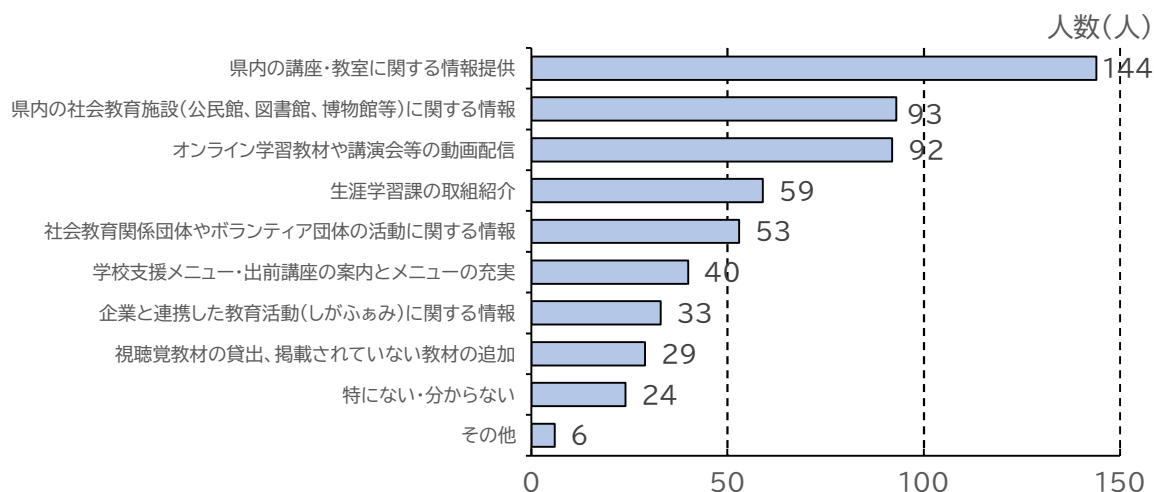
「4. 不満」または「3. どちらかといえば不満」と回答された理由

におねっと知りませんでした。もっとPRして欲しいです。
サイトが古臭く、見ようという気持ちにならない。一般向けではなく、教師や公務員が業務で使うためのサイトなのかなと思った。
スマホ対応していないので、スマホで読みにくい。
検索語句に依存したUIのため、条件が合わないと情報に辿り着けない。自分の場合は何度検索しても0件となり、一覧やトピック表示がないことで探索自体が困難だった。UI全体も古く、改善が必要だと感じる。

問13 どのようなサービスを充実してほしいですか。

該当する項目を選択してください。(「特にない・分からない」を選択した人以外は、回答チェックはいくつでも。n=236)

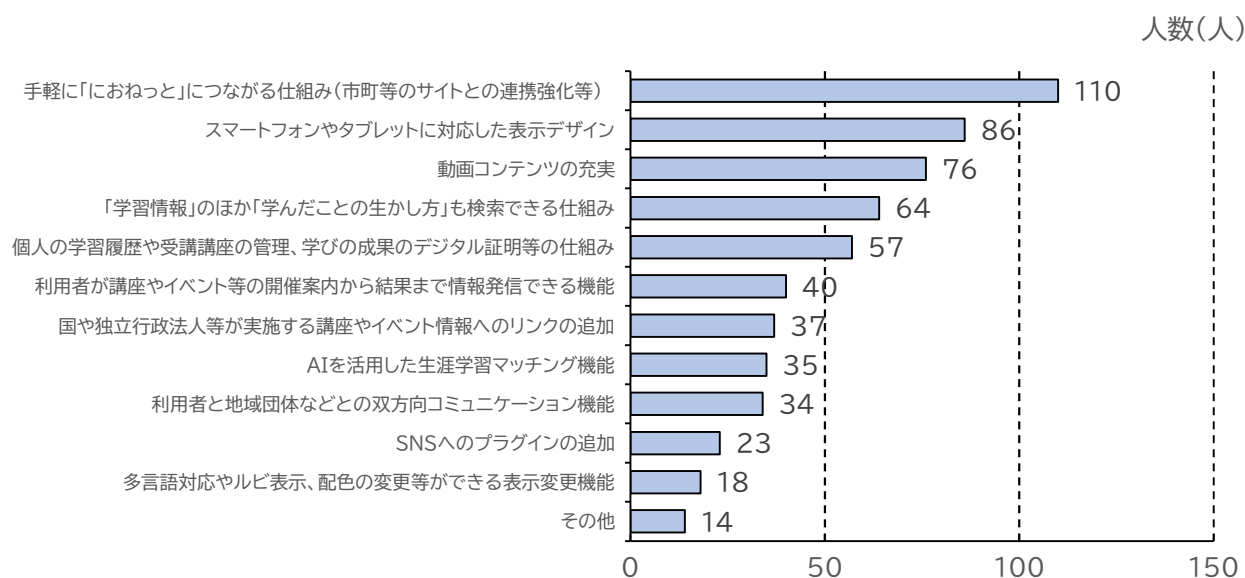
回答	人数(人)	割合(%)
県内の講座・教室に関する情報提供	144	61.0
県内の社会教育施設(公民館、図書館、博物館等)に関する情報	93	39.4
オンライン学習教材や講演会等の動画配信	92	39.0
生涯学習課の取組紹介	59	25.0
社会教育関係団体やボランティア団体の活動に関する情報	53	22.5
学校支援メニュー・出前講座の案内とメニューの充実	40	16.9
企業と連携した教育活動(しがふぁみ)に関する情報	33	14.0
視聴覚教材の貸出、掲載されていない教材の追加	29	12.3
特にない・分からない	24	10.2
その他	6	2.5



問14 より使いやすくなるためにあればよいと思う機能は何ですか。

該当する項目を選択してください。(回答チェックはいくつでも。n=236)

回答	人数(人)	割合(%)
手軽に「におねっと」につながる仕組み(市町等のサイトとの連携強化等)	110	46.6
スマートフォンやタブレットに対応した表示デザイン	86	36.4
動画コンテンツの充実	76	32.2
「学習情報」のほか「学んだことの生かし方」も検索できる仕組み	64	27.1
個人の学習履歴や受講講座の管理、学びの成果のデジタル証明等の仕組み	57	24.2
利用者(主催者)が講座やイベント等の開催案内から結果まで情報発信できる機能	40	16.9
国や独立行政法人等が実施する講座やイベント情報へのリンクの追加	37	15.7
AIを活用した生涯学習マッチング機能	35	14.8
利用者と地域団体などとの双方向コミュニケーション機能	34	14.4
SNSへのプラグインの追加	23	9.7
多言語対応やルビ表示、配色の変更等ができる表示変更機能	18	7.6
その他	14	5.9

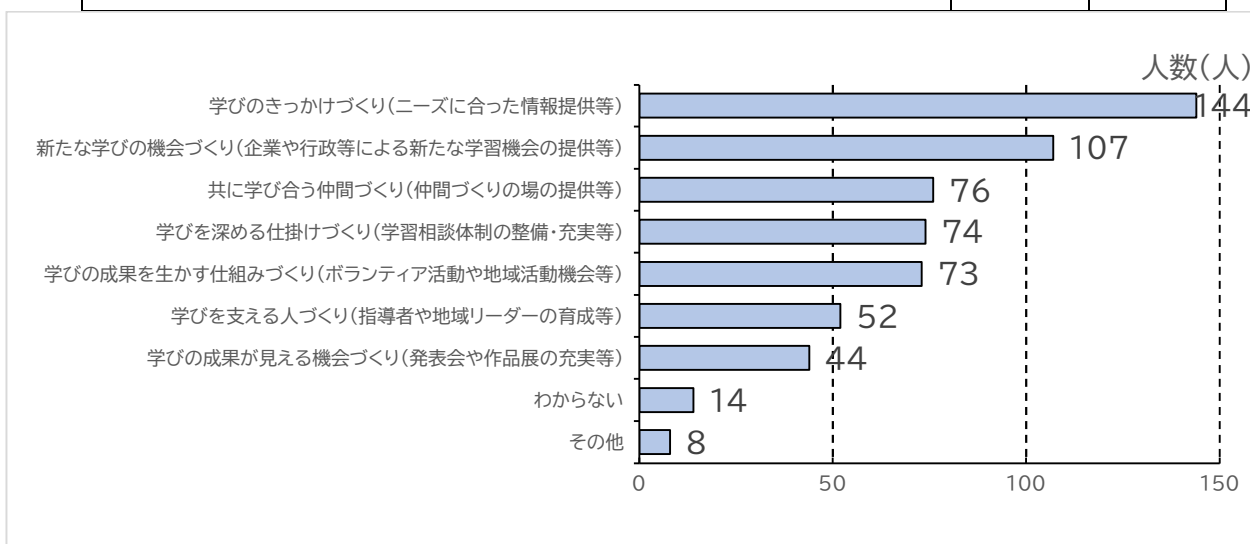


【すべての人が学び続け、共に生きるための生涯学習の振興について】

問15 県は今後どのような支援に力を入れるべきだと考えますか。

該当する項目を選択してください。(「わからない」を選択した人以外は、回答チェックはいくつでも。n=236)

回答	人数(人)	割合(%)
学びのきっかけづくり(ニーズに合った情報提供等)	144	61.0
新たな学びの機会づくり(企業や行政等による新たな学習機会の提供等)	107	45.3
共に学び合う仲間づくり(仲間づくりの場の提供等)	76	32.2
学びを深める仕掛けづくり(学習相談体制の整備・充実等)	74	31.4
学びの成果を生かす仕組みづくり(ボランティア活動や地域活動機会等)	73	30.9
学びを支える人づくり(指導者や地域リーダーの育成等)	52	22.0
学びの成果が見える機会づくり(発表会や作品展の充実等)	44	18.6
わからない	14	5.9
その他	8	3.4



問16 今後の生涯学習の取組についてご意見をお聞かせください。

生涯学習の推進に関するご意見がありましたら、お聞かせください。(一部抜粋)

- ・国スポ障スポは良い機会になりました。
- ・七十歳を過ぎてから漢文の勉強を始めました。始めると学ぶ事は無限に広がります。学ぶとはやはり自発的に始めるものだと思います。
- ・湖北、湖東、湖西、湖南、それぞれの孤立した情報をみんなが知ることができるように広報し、誰もが生き生きとその場に行けるような情報の提案を期待します。
- ・何歳になっても知らないこと、わからないこと、理解できないこと等多くあり人生経験が豊富であってもそれだけでは通用しない世の中になっています。老いも若きも学ぶことが重要であることをいま一度認識して真摯に取り組んでいきたいと思っています。
- ・『生涯学習の推進』は、各人がその気になればやっていけることなので、ぜひあらゆるメディアを通じて『生涯学習の推進』を県民にアピールし、老若男女を問わず学べる場づくりを推進していった欲しい。

- ・レイカディア大学もそうであるが、講座の分野を拡大する必要があると思います。県内の教育機関との連携により、学習機会の向上を期待したい。自身の関心と提供されるメニューがマッチしないことが多いため、中々学習の機会を得られないのが現状である。また、一線で活躍してきた中高年の方々が、これまで培ってきた経験などをベースに話す機会があれば良いかと思う。例えば、こんな分野でこんな話が聞きたいという要望を吸い上げ、対応できる人材を探索し、マッチングさせる仕組みなどを作ってはどうであろうか。教育機関からの要望に応えるのも良いかもしれない。
- ・趣味を広げて地域のコミュニティとの交流を促進するような種々の講座を企画するよう希望する。また社会課題について学ぶ機会を作り、必要に応じてボランティアとして課題解決に参加できるようになると良い。
- ・県、各市町村での広報誌やHP、そういう場所があるのを告知していただくと嬉しいです。
- ・もっと手軽にインターネットで勉強できると嬉しいです。子どもの体調不良等でなかなか通うのは難しいので講座に登録した人はアーカイブでいつでもどこでも見られるように等の配慮がある講座だと受けやすいです。
- ・学習の場において最も重要なのは知識の取得だと考えるが、それに加えて、学びを通じて生まれるコミュニティや、主催側がそこからどのような課題や気づきを得ているのかも非常に大切だと思う。目的・対象・成果が分かりやすく伝わることで、安心して参加できる学びの場になると考える。
- ・希望する学習テーマを登録する仕組みがあって、希望テーマに関する情報（研修やイベント）を「しらしがメール」等を通じて案内されると有難いです。
- ・図書館以外にも学習ができる場の提供を検討していただきたい。
- ・生涯学習の名人的なアワードを新設し、子供から高齢者までが一緒になって取り組むことができるシステムを設けることを提案します。今後、生涯学習が占めるウエートは高くなるばかりです。それだけに行政と県民が一体となって新たな創造をしていくことが求められます。
- ・学校以外での小中学生用教育場所を提供するとともに、ボランティアによる教育も良いのではないかと思う。
- ・継続して学習するには、近場での開催が望まれますが、市町により差があります。是非、県の取組としていろいろな場所で生涯学習の場を提供してください。
- ・自治会で生涯学習担当をしていたが、現在は担当者はおかれていない。生涯学習担当者が自治会の中におかれていない自治会も多いと聞く。自治会の中に生涯学習担当者をおくように指導されてはと考えます。
- ・情報を収集しやすい仕組み。繋がりやすい、あるいは検索しやすい、アプリの導入など検索しやすくなるような仕組みがあると良い。また、情報を提供する側にも、もう少し提供しやすい仕組みになると、情報発信もしやすいと思う。なかなか、イベントの紹介浸透がうまくいかない印象がある。
- ・「におねっと」という言葉は聞いたことがありましたが、閲覧したのは今回が初めてでした。県内の学習企画がさまざま紹介されていてよかったです。中でも図書館に関する情報は、親子で楽しめるものもたくさんありそうなので、今後も情報提供を充実させてもらえると嬉しいです。
- ・今後も様々な生涯学習の情報を得たいと思います。現在は滋賀県内と考えておりますが、京都、大阪にも足を運びたいですし、オンライン講座であれば手軽に受講できるので、近隣府県の生涯学習情報サイトとの連携やリンクがあればより情報が充実するのではと思います。
- ・県のスケールメリットを活かした仕組みづくり。プラットフォームを作り、各市町からのアクセスが簡単にできるようにできると良いように思います。
- ・育児をしていると、外出や決まった時間の参加が難しく、生涯学習の機会に触れにくさを感じることがあります。そのため、オンライン講座やアーカイブ配信など、家庭の状況に合わせて学べる取組が今後さらに広がると嬉しく思います。

